



編集 SEF 事務局
 連絡先 03-3669-0499
 URL http://sef-jpn.org

巻頭のことば 「豊洲新市場への道」 **理事 小栗貴史**

前回の SEF たより(第 125 号)で監事の山崎さんが「豊洲市場への期待」と題され、築地市場移転に触れておられましたが、わずか 3 カ月の間に、特に都知事選挙で小池新都知事が誕生されて以後、大きな変化があり、移転への期待が本当に移転できるのか？道を進めて良いのか？と言う状況になってしまいました。私も本当に驚いており、思わず同じ時事問題に触れさせていただいています。それどころか、今日のニュースでは、盛土問題のコンクリートボックスより下の地下水脈 3 か所から環境基準値を超過ベンゼンとヒ素が検出されたことが報じられています。直ぐ健康に影響はないとのことですが、水についてはコンクリートボックス内の水、地下水脈の水、そして実際に市場で使用される水についても、夫々の関連性、安全性、必要な対応策について科学的根拠に基いた検討が為されるべきと考えます。そして結果報告を市場関係者、消費者に明確に行い食の安全、安心を示すべきと思います。ターレのスピードの遅さのみならず「豊洲市場への道」はまだまだ遠いと言わざるを得ないようです。

最後になりましたが、この度、理事を賜ることになりました“小栗貴史(オクリ タカシ)”と申します。皆様のご指導ご鞭撻、どうか宜しくお願い申し上げます。

8 月度(第 157 回)理事会報告(9 月 28 日)

《第 157 回理事会》	
1. 総合ハイテック社営業支援業務契約更新の件 →審議・承認	5. マイナンバー運用規定案の件→継続審議
2. 業務支援事業活動支援費予算超過申請の件 →審議・承認	6. H28/10 会員交流会開催の件→可決承認
3. IOT 検討会活動経費支払の件 →継続審議	7. HP 更新検討経緯と進捗の件→継続審議
4. SEF と J-Score との事業協力覚書の件 →継続審議	8. クミネ工業社受託業務成行報告の件→報告了承
	9. 15 年史編纂委員会進捗報告→報告了承
	10. NPO 推進ネット団体補償継続の件→報告了承
	11. H28/8 会計収支報告→報告了承

事業報告 時事問題研究会 **担当理事 重富 紀**

時事問題研究会は昨年度から継続して「日本の将来に影響する諸問題の研究」について「日本の主要産業の次世代技術の予測」をサブテーマに日本の主要産業の明日を支える次世代技術について研究し近未来の日本の産業のありようと課題について考えています。今年度は種々の産業の中でますますその存在の重みを増している「IT関連産業」について研究を進めており、まず ICT 全般について、また一昔前にもはやされた“電子立国”はなぜ凋落したかその経緯と凋落の原因について勉強しました。今後は今話題の「IOT」や「AI」について研究予定です。また次の研究対象産業として「ロボット関連産業」を考えています。昨年度・今年度とこのテーマでの研究が長くなりましたので、このテーマでの研究は今年度中に終了し、次に何か新しいテーマでの研究をスタートさせるべく、取り組むべき次のテーマの検討を開始する予定にしています。

SEF サロン 第 95 回報告・第 96 回案内 **担当理事 白崎善宏**

《 第 95 回報告 》9 月 28 日実施
 講師:宮川都吉氏 元広島大学 教授
 演題:「江戸時代の酒作り—誇るべきバイオテクノロジーの源流」
 日本酒の作り方はワイン等に比べても非常に複雑かつ手間のかかることのお話がありました。これは技術的には醸造学でだいぶ解明されてきています。良い酒には「良い米と水」と「杜氏の技術」と「寒い気候」が必要ですが、いまだに全てが判っていることではないようです。酒の腐敗防止の「火入れ」は、ワインの腐敗防止のパスツールの提唱した「低温殺菌」と似た手法であり、パスツールより 300 年以上も前に既に日本で確立されていたとのこと。まさに日本の誇るべきバイオテクノロジーの源流が酒作りにあります。身近なお酒のお話でしたので、聴衆の方からも質問も多く楽しい講演会でした。

《 第 96 回案内 》
 日時:2016 年 11 月 30 日(水) 18 時 場所:青学会館内アイビーホール 1F「フェア」
 演題 未定
 講師 未定

8-9 月度会員動向

会員入退会 入退会なし	10 月 1 日 会員数 正会員・30 名、準会員・29 名、賛助会員・2 社
----------------	--